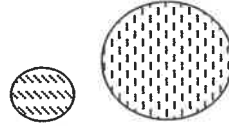
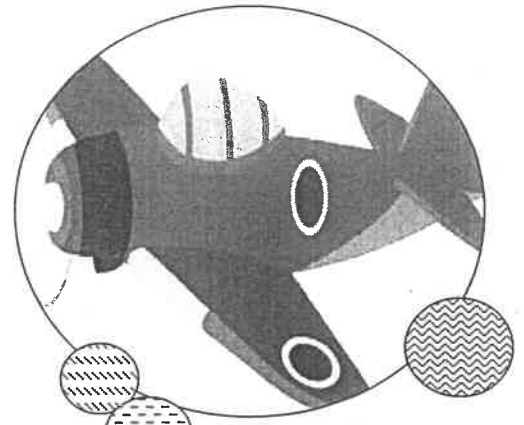


掩体壕



私たちが今まで学習してきた「太平洋戦争」は、主に原爆や
沖縄の地上戦についてのことで「他の県ではこんな事が起こっていたんだな」
と少し他人事のように思っていた部分もありましたが、掩体壕の保存エビ
ソードなどを聞いて、松山でも同じように人が苦しむ、亡くなっていったん
だなということを実感できました。大事なものは、失われた人の数だけでなく、
その人の心の傷です。命と同じ重さの傷です。「原爆みたいな大きい被害は
ないから松山はそうでもない。」という私の思いをおすまっかけにもなってくれ
て、本当に感謝してもしきれません。

日本各地で空しうにみまわれ、同じように別れがあつて、痛み
があつて、その傷は決して簡単にはいえないというのを痛感し
て、「松山の被害」というのも、今後頭に入れて平和な世界の
実現に向きあつていきたいです。